

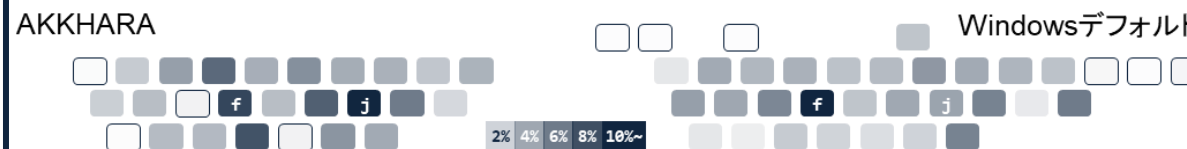
概要

人口が多く、経済発展が目覚ましいアジア地域では、いろんな複雑な形をしている文字があり、入力が大変です。ここでは、NICT・ASTRECが開発した入カソフトウェアAKKHARAを示します。

文字体系の分類と入カインターフェースの概要

体系	アルファベット	アブギダ	音節文字	表語文字
典型例	ローマ字	東南アジア諸文字	仮名	漢字
記号数	30前後	10 ^{1.5} ~10 ³		10 ³ 以上
入力	直接打鍵	汎用的「AKKHARA」対応	特化的ソフトウェア	

応用例：ミャンマー文字打鍵分布の効率化



ダウンロード

<https://www2.nict.go.jp/astrec-att/member/ding/my-akkhara.html>

特徴

- 普通のIMEのように利用できます。
- ローマ字で入力し、任意の文字体系に対応できます。
- 文字の変換処理は、自分の好みで編集できます。

ユースケース

- C. Ding, M. Utiyama, and E. Sumita. MY-AKKHARA: A Romanization-based Burmese (Myanmar) Input Method. In Proc. of EMNLP-IJCNLP, Demostration, pp. 157--162, 2019.

今後の展開

- 専門用語・外来語辞書の組み込み
- 自動補完・スペルチェック機能の追加
- スマホ上のインターフェースの研究開発